



電動追従台車

Forolley

もくじ

安全にご使用いただくために	3
はじめに	7
梱包物	7
各部名称	8
組み立て	9
充電	10
本体バッテリーの充電	10
リモコンバッテリーの充電	11
始動～終了	12
Forolleyとリモコンのペアリング	12
電源を入れて始動する	12
障害物センサー	13
電源を切る	13
運転モード	13
スタンバイ(SB)モード	13
ラジオコントロール(RC)モード	14
追従(FL)モード	15
行進モード	16
手押しモード	17
リモコンのサウンドの「オン」「オフ」を切り替える	17
メンテナンス	17
定期点検とメンテナンス作業	17
保管	18
パーツリスト	18
保証書	19

- このたびは、Forolleyをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をご使用になる前に、このマニュアルを熟読してください。また、大切に保管してください。
- このマニュアルでの寸法や計測はおよそのものであり、環境、温度、湿度、信号干渉、ノイズ、操作者の体つきによって変化します。

安全にご使用いただくために

本マニュアルを熟読し、製品について十分に理解してから組み立て、操作などを実施してください。手順に従わない場合には、人身傷害や財産の破損につながるおそれがあります。

年少者の就業制限

満18歳に満たない年少者は、車両の運転作業に就かせないでください。
(労働基準法第62条、年少者労働基準規則第8条)

安全衛生教育

車両の運転者は、安全衛生教育を終了したものでなければなりません。
労働安全衛生規則第35条、労働安全衛生法第59条には次のように規定されています。
「事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。」

	警告	取り扱いを誤った場合、死亡や重傷を負うおそれがある内容を示します。
	注意	取り扱いを誤った場合、軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容を示します。
		してはいけない内容を示します。
		実行しなければならない内容を示します。

警告

▶ 操作について

	● 人や動物をのせないでください。 ● 危険物をのせないでください。 ● 坂道で駐車しないでください。 ● 水にぬれた地面では使用しないでください。 ● 傾斜角が6度を超える坂道では使用しないでください。 ● ネジなどの部品がゆるんだまま使用しないでください。 ● 分解や改造をしないでください。 ● 可動部分に指などをはさまないでください。 ● 直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所、水のかかる場所、高温・多湿になる場所では使用しないでください。 ● 階段では使用しないでください。
---	--

警告



- 荷物は片側に集中荷重にならないよう積んでください。
- 急旋回、急カーブでは荷崩れの危険がありますので充分減速してください。
- 本体バッテリーの残量がなくなると、ブレーキが機能しなくなります。十分に充電してご使用ください。
- ご使用にならないときは、平坦で安定した場所に保管してください。
- Forolleyから離れる時は、電源を切って車輪止めなどの処置を施してください。
- 荷物を搭載したままで放置することは危険ですので避けてください。

▶ バッテリーについて



- バッテリーや充電器を分解、改造しないでください。
- バッテリーは火気厳禁です。また、高温となるような環境に保管、放置しないでください。



- 必ず弊社純正のバッテリーと充電器を使用してください。
- 感電やショートを防ぐためにバッテリーや充電器に水などの液体がかからないようにしてください。
- バッテリーの使用、充電時、あるいは保管時など、異臭、変色、変形などの異常が認められた場合、いかなる場合においても、すぐに使用を中止してください。
- 火災やバッテリーの爆発のリスクを避けるため、以下のことを必ず守り、正しくご使用ください。
 - ・ 専用のバッテリーのみ用いる。
 - ・ 付属の充電コードのみ用いる。
 - ・ バッテリーを室温に保つ。
 - ・ 引火するおそれのあるものの近くで充電しない。
 - ・ 直射日光となる場所や、発火する可能性のある場所で保管しない。
 - ・ 高温な場所や高温となる車中などで保管しない。
 - ・ 落下させる、ぶつける、先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えない。
 - ・ 金属をバッテリーの金属端子に触れさせない。
 - ・ バッテリーを屋外で充電しない。
 - ・ バッテリーを過剰に充電しない。
- バッテリーが以下の兆候を示した場合は、すぐに使用を中止し、可燃性のあるものから遠ざけて、販売店または弊社にご連絡ください。
 - ・ 異様な臭気
 - ・ 変色や変形
 - ・ 異様なノイズ
 - ・ 漏液
 - ・ 異常な過熱
- バッテリーを廃棄する際は、バッテリーを放電してから地方自治体が定める方法にしたがってください。

- バッテリーおよび充電器の不適切な使用は、バッテリーの発熱、破裂を引き起こします。また、出火による深刻な負傷を負う可能性があります。
- バッテリー充電時は室温が0℃～45℃の間で行ってください。これ以外の場合、バッテリーの性能および寿命が低減します。また、発熱、破損のおそれがあります。

- リチウムバッテリーは、通常の場合において問題なく作動しますが、非常に多くの電力を蓄えるため、不注意または不適切に用いられると、爆発または発火する可能性があります。火災や爆発を避けるため、リチウムイオンバッテリーの潜在的危険を知り、安全対策に従うことが重要です。

注意

▶ 使用時の環境について

	● 超音波によって、異常動作または誤作動を引き起こすことがあります。Forolleyと他の超音波機器を同時に使用しないでください。
	● Forolleyは屋内専用です。 ● ラジオの周波数信号、Wi-Fiや類似の電気信号などに干渉される可能性がありますので、以下に注意してください。 ・ 架空送電線 ・ ラジオおよび携帯電話の電波塔 ・ 近隣の空港や航空基地 ・ Wi-Fiや類似の電気信号 ● 干渉が発生したときは、手押しモードで使用してください。

▶ 操作について

	● Forolleyは工場または倉庫など物流現場での貨物取扱のみに特化した設計がなされています。そのため、この目的以外には使用しないでください。これ以外の目的で、不適切または不当に使用した事により生じた事故に対し、弊社は一切の責任を負いません。
	● 周囲に人がいないことを確認し、他の人をForolleyに近づけずに操作してください。 ● 正しく操作するためには、リモコンとForolleyのセンサーがそれぞれ真っすぐに向き合った状態であることを確認してください。 ● 安定した歩行を心がけてください。平らでない床や、廊下、棚、その他の障害物がある通路では、ゆっくり歩き、慎重にForolleyを誘導してください。 ● 実際に現場でForolleyを使用する前に操作を練習し、Forolleyのセンサーがお持ちのリモコンにどのように追従するのかを熟知のうえ使用してください。 ● 当製品を取り扱う方の安全を確保する観点から、子供または、身体的障害および感覚障害、あるいは精神的障害をお持ちの方、知識や経験が不足している方の使用を制限します。これらの方々が使用される場合は、その方々の安全について責任のある方による指導、監視の下で行ってください。 ● 始業点検を行ってください。 ● 異常が認められた場合は、ただちに使用を中止し、必要な処置を講じてください。 ● 修理は弊社サービスセンターまたは販売店に依頼してください。

⚠ 注意

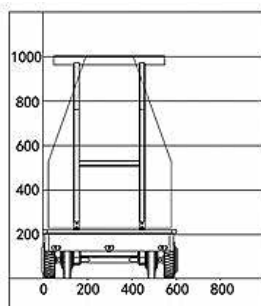
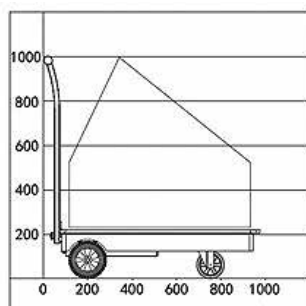
▶ 積載条件



- 最大荷重やその他の能力を超えて使用しないでください。

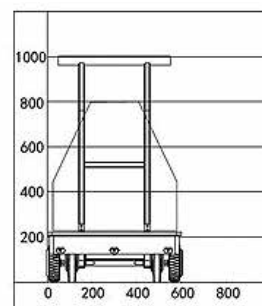
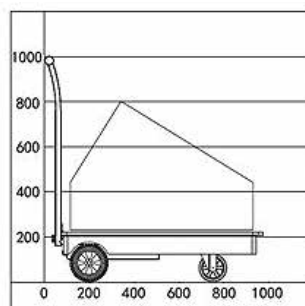


- 横転のリスクを減らし、積荷の落下やズレを防ぐために、以下の有効積載量の仕様に従って、荷を置き、固定してください。
- 以下は、異なる有効積載量での安全な操作のための、重心 (CoM) を示している図です。50kg、100kg、150kgの有効積載量に対応しています。



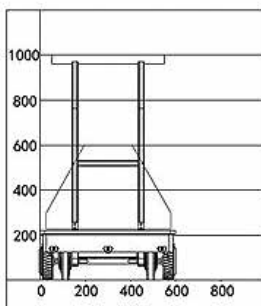
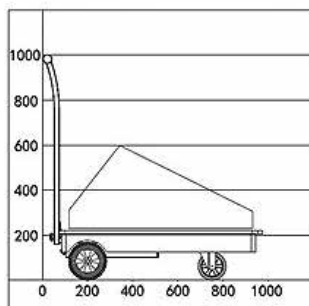
単位：mm

50kg



単位：mm

100kg

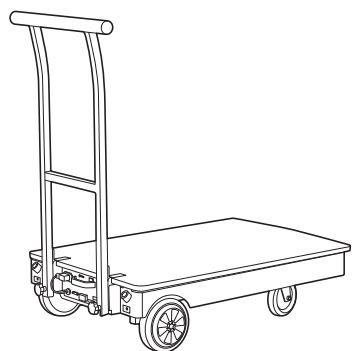


単位：mm

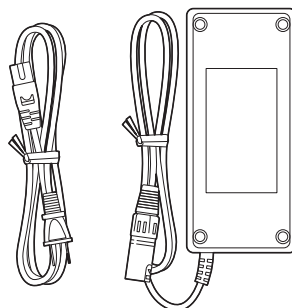
150kg

はじめに

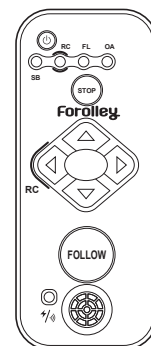
梱包物



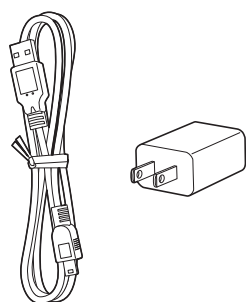
Forolley
(本体バッテリー・制御ボックス付属)



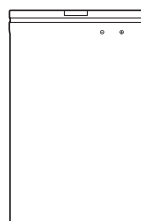
本体用充電器
(電源コード・充電器)



リモコン



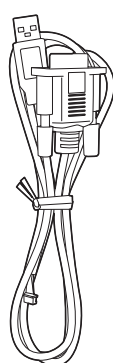
リモコン用充電器
(USBケーブル・電源プラグ)



リモコンバッテリー



取扱説明書
(本書・保証書つき)

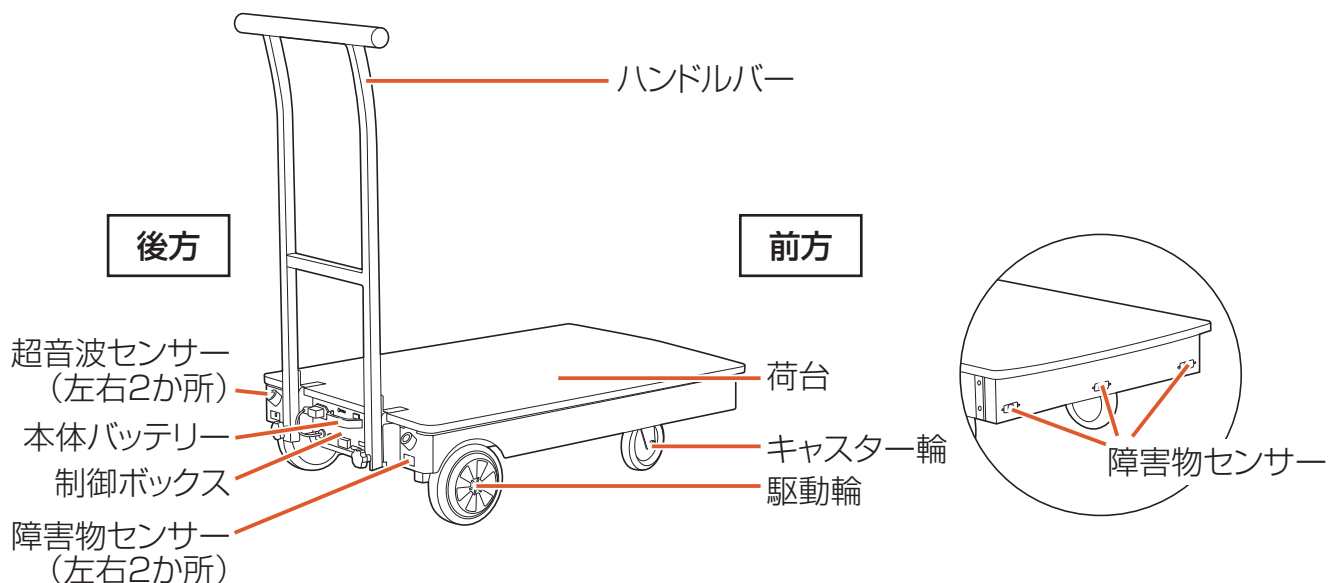


デジタルケーブル
(保守用)

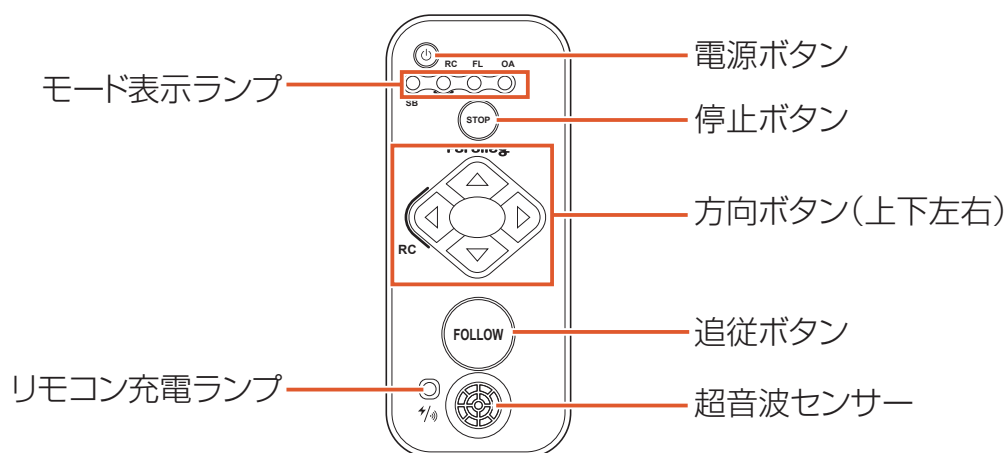
● デジタルケーブルは保守用ですので大切に保管してください。

各部名称

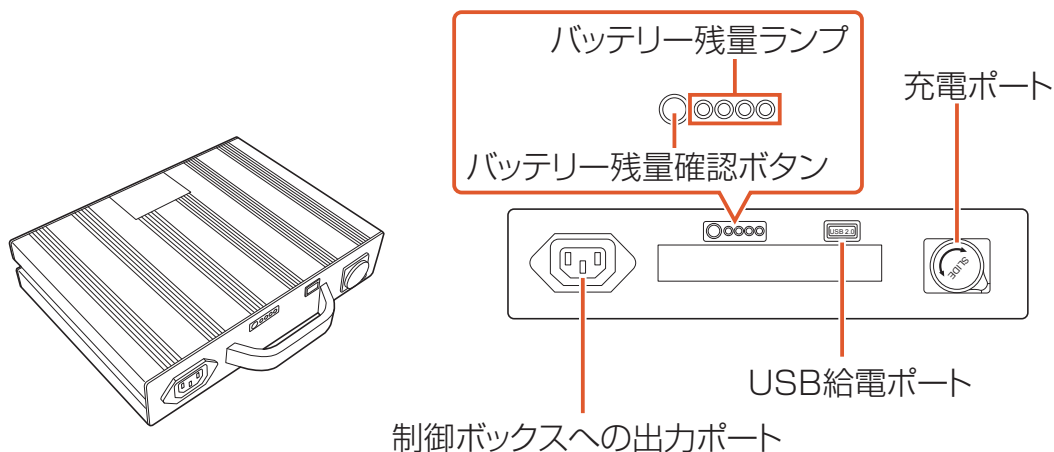
本体



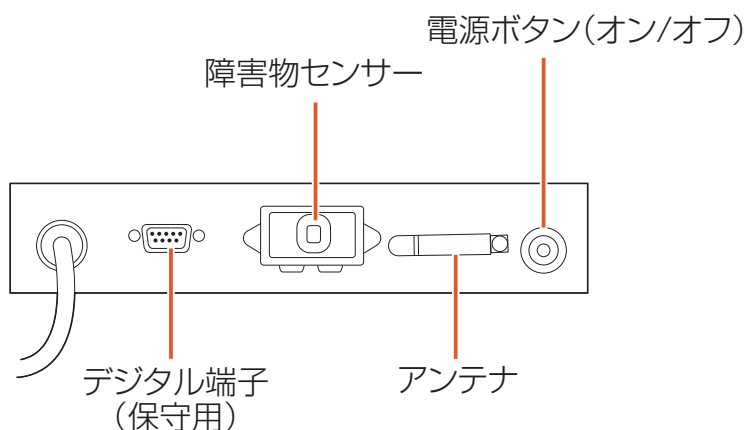
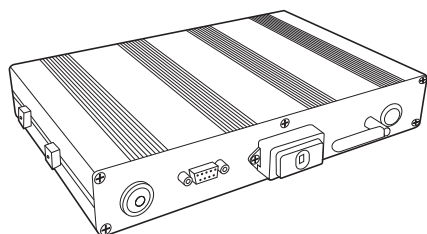
リモコン



本体バッテリー(本体に付属)

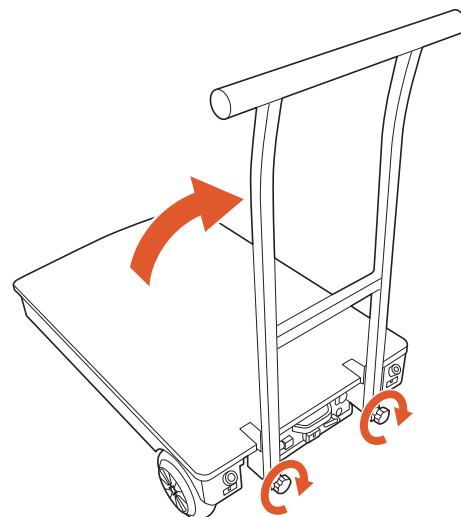


制御ボックス(本体に付属)

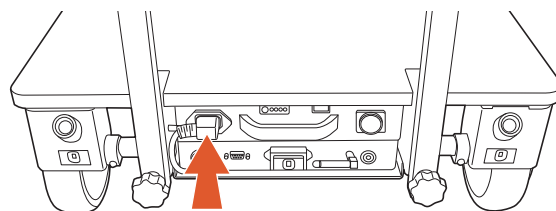


組み立て

- 1 ハンドルバーを起こし、左右のノブを回して固定する。

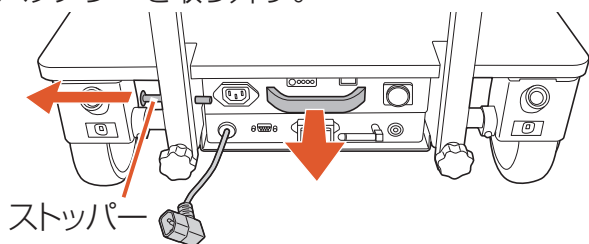


- 2 電源ケーブルを本体バッテリーに差し込む。



本体バッテリーの取り外し

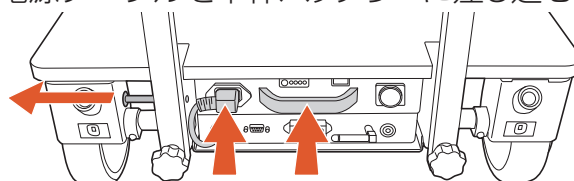
1. 本体バッテリーから電源ケーブルを抜く。
2. ストッパーを引いたままの状態にして、バッテリーを取り外す。



ストッパー

本体バッテリーの取り付け

1. ストッパーを引いたままの状態にして、バッテリーを取り付ける。
2. 電源ケーブルを本体バッテリーに差し込む。



● 本体バッテリーをForolleyから取り外した状態でも充電できます。

充電

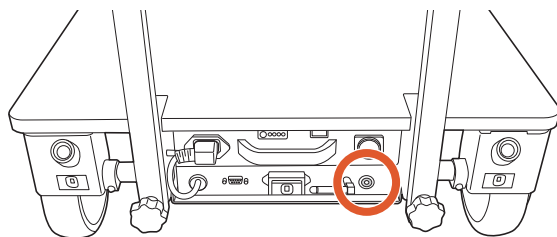
Forolleyはリチウムバッテリーを使用しています。使用前にフル充電する必要があります。
本体バッテリーおよびリモコンバッテリーの充電には100-240V(50-60Hz)のコンセントが使用できます。

本体バッテリーの充電

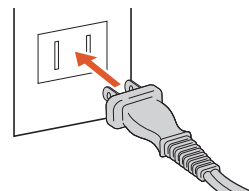
- 本体バッテリーをフル充電するには、約5時間かかります。

1 充電前に、制御ボックスの電源ボタンのランプが消灯していることを確認する。

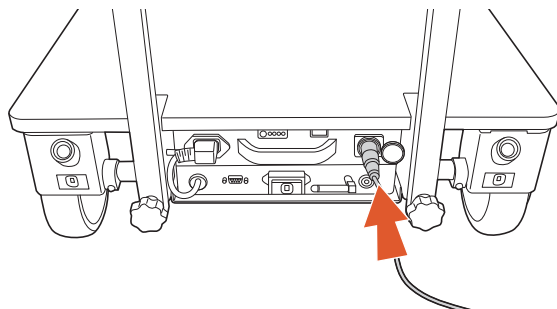
充電中は電源はオフのままにしてください。(→P.13)



2 本体用充電器の電源プラグをコンセントに差し込む。

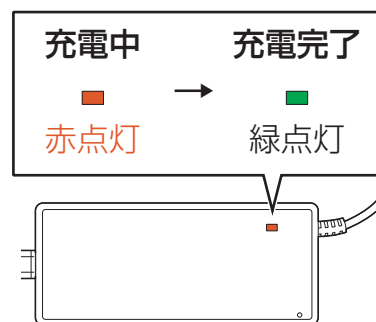


3 充電ポートのキャップをスライドさせ、本体用充電器と本体バッテリーをつなぐ。



充電中、本体用充電器のランプは赤く点灯します。

本体バッテリーの充電が完了すると、本体用充電器のランプは緑に変わります。



本体バッテリーの残量の確認

本体バッテリーのバッテリー残量確認ボタンを押して、バッテリー残量ランプを確認します。

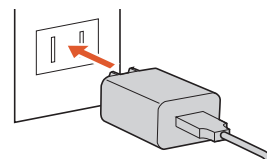
	赤ランプ点灯+緑ランプ点灯×3	バッテリー残量100%
	赤ランプ点灯+緑ランプ点灯×2	バッテリー残量70%
	赤ランプ点灯+緑ランプ点灯×1	バッテリー残量40%
	赤ランプのみ点灯	バッテリー残量10% (ただちに充電してください)

リモコンバッテリーの充電

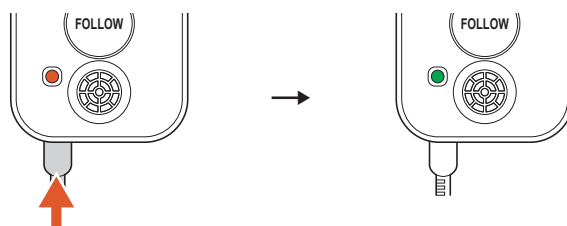
リモコンには4.2Vのリチウムバッテリーとリモコン用充電器が付属しています。
フル充電には約2時間かかります。充電後、約30時間使用できます。

- 1 充電前に、リモコンのすべてのランプが消灯していることを確認する。
充電中は電源はオフのままにしてください。(→P.13)

- 2 リモコン用充電器の電源プラグをコンセントに差し込む。

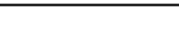


- 3 リモコンにリモコン用充電器をつなぐ。
充電中、リモコン充電ランプは赤く点灯します。
リモコンバッテリーの充電が完了すると、ランプは緑に変わります。



リモコンバッテリーの残量の確認

リモコンの  ボタンを長押ししてリモコンの電源をオンにし、 ボタンを2～3秒間長押しします。

	緑ランプ点灯×4	バッテリー残量100%
	緑ランプ点灯×3	バッテリー残量70%
	緑ランプ点灯×2	バッテリー残量40%
	緑ランプ点灯×1	バッテリー残量10%(ただちに充電してください)

始動～終了

Forolleyとリモコンのペアリング

初めてForolleyを使用する際に、Forolleyとリモコンをペアリングする必要があります。

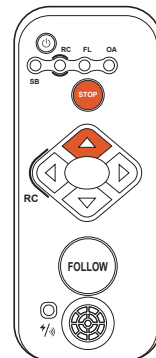
1 リモコンとForolleyの電源を入れてから10秒以内に、

 ボタンと  ボタンを同時に長押しする。

短いビープ音が2回鳴りForolleyとリモコンがペアリング接続します。

リモコンのSBランプが点滅し、Forolleyがスタンバイ (SB) モードになります。

● 電源の入れかた(→P.12～13)

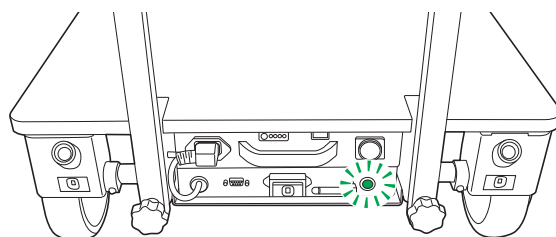
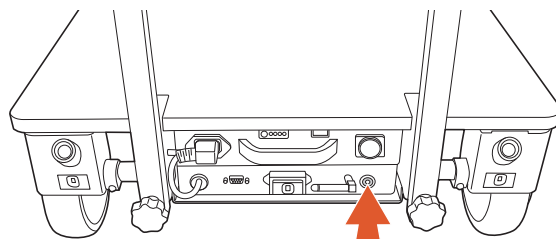


電源を入れて始動する

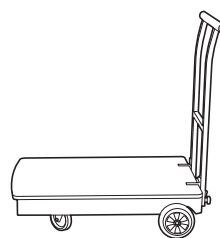
1 本体バッテリーおよびリモコンバッテリーが充電されていることを確認する。(→P.11)

2 制御ボックスの電源ボタンを押し込んでForolleyの電源をオンにする。

電源ボタンのランプが緑点滅します。



3 Forolleyの後方(60cm以内)に立ち、リモコンの ボタンを長押ししてリモコンの電源をオンにする。



4 リモコンをForolleyに向ける。

短いビープ音が2回鳴り、Forolleyとリモコンがリンクします。リモコンのSBランプが点滅し、Forolleyがスタンバイ (SB) モードになります。

障害物センサー

障害物センサーを「オン」にしていると、障害物を検知したときにForolleyは減速し停止します。安全のために障害物センサーを必ず「オン」にして使用してください。Forolley始動時には「オン」に設定されています。

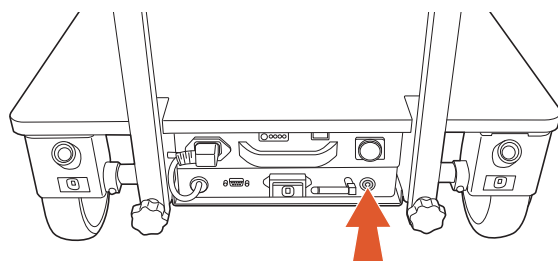
障害物センサーは、屋内使用のみに対応しています。

- 障害物を検知したとき、Forolleyは減速し停止し、短いビープ音が3回鳴ります。引き続き使用する際は、障害物を取り除くなどしてください。
- 障害物センサーの「オン」「オフ」を切り替えるときは、スタンバイ(SB)モードで、リモコンの  ボタンを長押しします。短いビープ音が4回鳴ると障害物センサー機能は「オフ」となり、2回鳴ると「オン」になります。

電源を切る

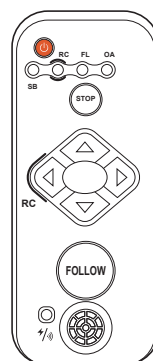
- 1 制御ボックスの電源ボタンを押し戻し、Forolleyの電源をオフにする。

電源ボタンのランプが消灯します。



- 2 リモコンの  ボタンを長押ししてリモコンの電源をオフにする。

リモコンのすべてのランプが消灯します。



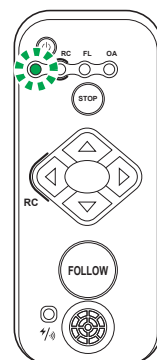
運転モード

スタンバイ(SB)モード

すべての運転モードはスタンバイ(SB)モードから開始します。始動後Forolleyは自動的にスタンバイ(SB)モードに入ります。

リモコンのSBランプが点滅して操作者からの次の指示があるまで待機します。

スタンバイ(SB)モードでは、駆動輪が固定され、Forolleyを押して動かすことはできません。



ラジオコントロール(RC)モード

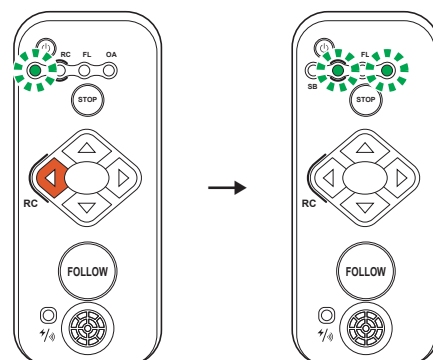
ラジオコントロール(RC)モードでは、リモコンでForolleyを操作します。作業中に遠く離れてしまったForolleyを近くに呼び寄せすることもできます。

1 スタンバイ(SB)モードであることを確認する。

リモコンのSBランプが点滅します。

2 ボタンを長押しする。

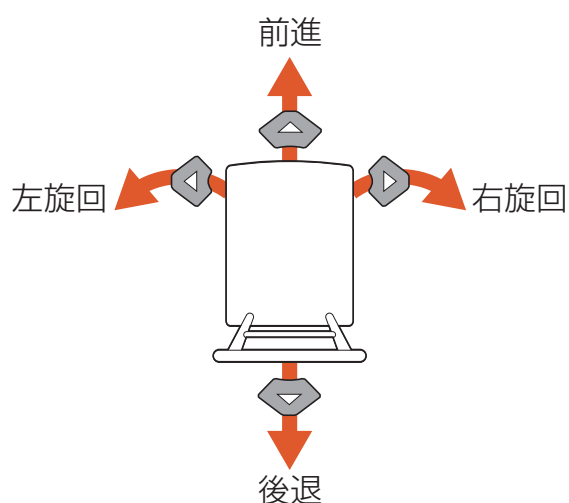
リモコンとForolleyの両方で短いビープ音が鳴り、リモコンのRCランプが点滅します。障害物センサーが「オン」のときは、OAランプも点滅します。



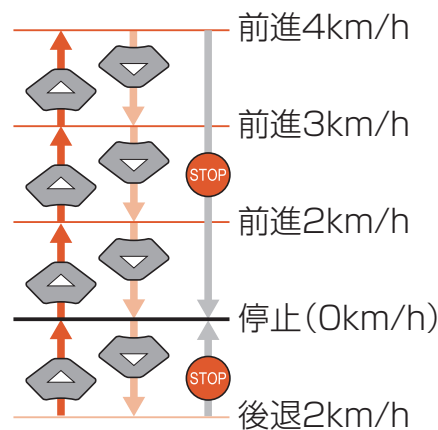
3 ボタンでForolleyを操作し、

 ボタンで停止する。

●   ボタンは押している間だけ操作できます。



● スピードを変更するには   ボタンを押します。

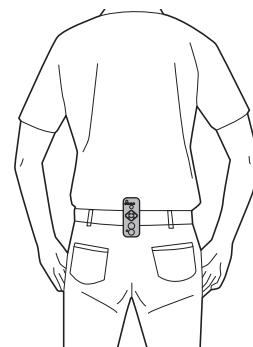


- 前進/後退の進行方向を切り替えるときは、 ボタンを押していったん停止させてください。
- Forolleyが停止しているときに  ボタンを押すと、ラジオコントロール(RC)モードが解除され、スタンバイ(SB)モードに戻ります。
- 通常の制御範囲は約30mです(環境によって異なります)。範囲を超えるとForolleyは停止します。Forolleyが離れてリモコンとの通信が失われた場合は、手順2を繰り返して再度リンクさせてください。

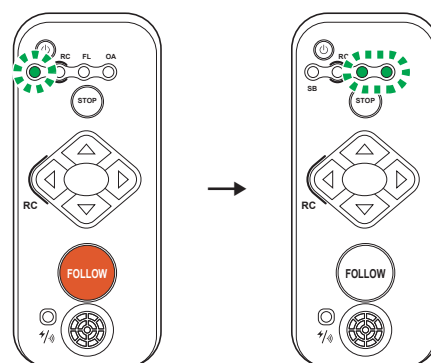
追従(FL)モード

追従(FL)モードでは、Forolleyが操作者の後ろを一定の間隔を保ち追従します。

- 1 スタンバイ(SB)モードであることを確認する。
リモコンのSBランプが点滅します。
- 2 Forolleyの後方から30～80cm、かつ2つの駆動輪の間に
背を向けて立つ。
腰の中央辺りにリモコンを留めます。

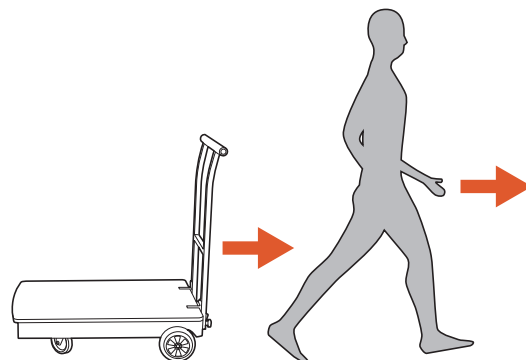


- 3  ボタンを長押しする。
リモコンとForolleyの両方で短いビープ音が鳴り、
リモコンのFLランプが点滅します。障害物センサーが
「オン」のときは、OAランプも点滅します。



- 4 短いビープ音が2回鳴ったら、歩行を開始する。
Forolleyは操作者との間隔を100cmに保ちながら
歩行速度に合わせて追従します。

- 短いビープ音が2回鳴らないときは、短いビープ音が
2回鳴るまで、Forolleyから30～80cm以内で自分の
位置を調整してください。
- 追従(FL)モード中に、リモコンが離れすぎると、
短いビープ音が4回鳴ります。再びForolleyの後方(30
～80cm以内)に背を向けて立ち、手順3に従い、
追従(FL)モードを作動させてください。
-  ボタンまたは  ボタンを押すと、追従(FL)モードが解除され、スタンバイ(SB)モード
に戻ります。
- 通路で追従(FL)モードを使用する場合は、Forolleyを壁から60cm以上離してください。
通路幅が2m以下の通路では追従(FL)モードを使用しないでください。



行進モード

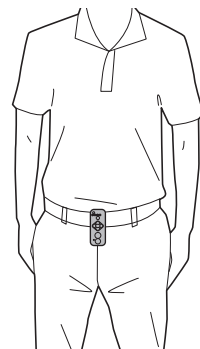
行進モードでは、Forolleyが操作者の前を一定の間隔を保ち走行します。

1 スタンバイ(SB)モードであることを確認する。

リモコンのSBランプが点滅します。

2 Forolleyから70～130cm、かつ2つの駆動輪の間に立つ。

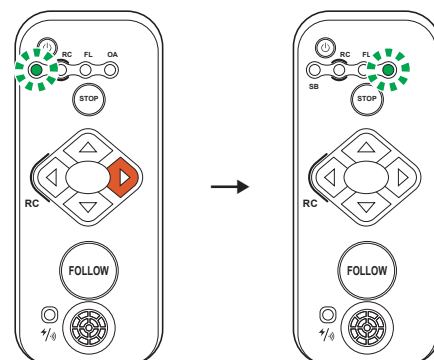
リモコンを前のベルトにはさみ、リモコンがForolleyに向けられていることを確認します。



3 ボタンを長押しする。

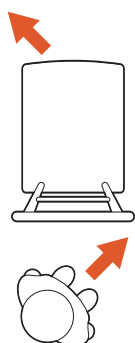
リモコンとForolleyの両方で短いビープ音が鳴り、リモコンのOAランプが点滅します。(障害物センサーの設定に関わらずOAランプが点滅します。)

- 必要があれば、Forolleyの進行方向を調整するために左か右に動いてください。行進モードが作動するので、前方には踏み出さないでください。



4 Forolleyに向かってゆっくりと一歩を踏み出す。

- 短いビープ音が2回鳴り、行進モードが作動します。Forolleyは自動的に前進し160cm前方を維持します。歩き始めるとForolleyは操作者の前方160cmを行進します。
- 最初の一步を踏み出す(行進モードを作動させる)前に、行手に障害物がないことを確認してください。
- **STOP** ボタンを押すと、スタンバイ(SB)モードに戻ります。
- 行進モード中に、Forolleyの向きを変えるには、進みたい方向の逆へ半歩進みます。



操作者が右方向へ移動すると、Forolleyは同じ速度で左方向へ移動します。



操作者が左方向へ移動すると、Forolleyは同じ速度で右方向へ移動します。

- ボタンまたは ボタンで方向転換することもできます。

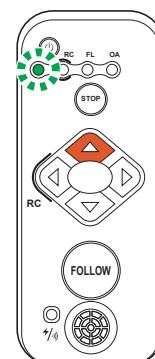
手押しモード

手押しモードでは、操作者はForolleyを押して使用することができます。障害物センサーが働いて停止したときに、Forolleyの向きを変えるときなどにも便利です。

手押しモードではブレーキが機能しないため、坂道では注意してください。

スタンバイ(SB)モードの状態、短いビープ音が2回鳴るまで  ボタンを長押しする。

-  ボタンを押すと、Forolleyがスタンバイ(SB)モードに戻ります。
- Forolleyの電源がオフになっている状態でもForolleyを押して使用することができます。(ブレーキは機能しません。)



リモコンのサウンドの「オン」「オフ」を切り替える

スタンバイ(SB)モードで  ボタンを4回、  ボタンを1回押す。

- ビープ音が1回鳴ると「オフ」となり、短いビープ音が2回鳴ると「オン」になります。

メンテナンス

定期点検とメンテナンス作業

始業点検

部品	点検・清掃
超音波センサー	損傷がないか確認する。汚れていたら乾いた布で清掃する。
障害物センサー	損傷がないか確認する。汚れていたら乾いた布で清掃する。
アンテナ	損傷がないか確認する。
キャスター輪	汚れていたら清掃する。
駆動輪	損傷がないか確認する。 スタンバイ(SB)モード時に駆動輪が固定されているか確認する。 汚れていたら清掃する。
リモコン	汚れていたら清掃する。
本体バッテリーおよびリモコンバッテリー	フル充電されているか確認する。 バッテリーが正しく接続されているか確認する。 損傷または漏液がないか確認する。

週に1回

部品	メンテナンス作業
Forolley	ひびや傷などの目に見える重大欠陥がないか確認する。 つまみ、ネジ、プラグ、コネクタにゆるみがないか確認し、必要に応じて締める。 ワイヤーおよびケーブルに、異常がないことを確認する。
キャスト輪	湿らせた布で汚れを取り除き、車輪に何も絡まっていないことを確認する。
駆動輪	湿らせた布で汚れを取り除き、車輪に何も絡まっていないことを確認する。

保管

乾燥した清潔な環境で保管することをお勧めします。直射日光や雨にあたらないようにしてください。適切な保管により、使用していないときもForolleyの安全な状態が保たれます。お困りの際は、弊社サービスセンターまたは販売店にお問い合わせください。

パーツリスト

名称	品番
Chassis	AU0102000040
Handlebar	AU0102000042
Sheet metal components	AU0102000041
Carrier Platform	AU0103000229
Caster wheel	AU0103000227
Motor wheel	AU0102000010
Battery	AU0102000004
E-Box	AU0102000056
Antenna	CE0002000028
Obstacle Avoidance Sensor	AU0102000050
Obstacle Avoidance Sensor (E-box)	AU0102000051
PCBA of Obstacle Avoidance Module (STB V1.1)	AU0103000112
Sensor (UL)	AU0102000020
Three core wire (UL)	AU0101000022
Handset	CT0102000003
Handset Battery	CT0103000014
Handset Charger	AU0101000026
Handset Cable	CE0002000018
Ukart Charger	AU0101000027
Upgrade Cable	CE0002000060

※※※ 保証書 ※※※

この度は弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。本書は万一故障が生じた場合本書の記載内容で無償修理をお約束するものです。無償修理をお受けになる場合は、保証書に記載されている保証期間と下記の保証規定を確認のうえ、販売店または弊社サービスセンターまでご提示下さい。保証期間、販売店名などの記入もれがありますと無効になります。必ずご確認いただき、記入のない場合は販売店または弊社サービスセンターにお申し出下さい。

◆保証規定

〈無償修理規定〉

1. 本機の保証期間は、新車を購入した日から**3ヶ月間**とします。
2. 取扱説明書 本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には、お買上げ販売店または弊社サービスセンターが無償修理いたします。
3. 保証期間内に、正常な使用状態で、各部品に材料上あるいは製造上の不具合によって故障が発生した場合、無償で修理いたします。
4. 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 本書に保証期間、お客様名、販売店名の記入がない場合。または字句を書き替えられた場合。
 - (ハ) 地震、火災、公害および風水害その他天災地変など外部に要因がある故障、損傷、および事故。
 - (ニ) 弊社が示す仕様の限度を超えた使用。(積載量、荷重中心長さ、偏荷重等)
 - (ホ) 弊社の承諾なしに本機の機能に影響する改造。
 - (ヘ) 純正部品および指定する油脂類以外の使用。
 - (ト) 故意または過失による取扱上の不注意の起因となるもの。
 - (チ) 保守、整備の不備またはまちがひ。
 - (リ) 本機使用上消耗品と考えられる部品。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

◆アフターサービスについて

1. 保証期間後の修理についても、故障が発生したら販売店または弊社サービスセンターまでご連絡下さい。弊社サービス網で適切な処置をさせていただきます。
2. 定期的に点検を希望されるお客様は、販売店または弊社サービスセンターまでご連絡下さい。ご相談の上お見積り致します。

◆製品以外の保証について

1. 〈無償修理規程〉の4.に示す有償修理項目(ニ)～(チ)の内容で、もし人身事故や物損事故が発生しても弊社ではいっさいその責任は負いませんので、特にご注意下さい。

製品保証書				
車体形式			車体番号	
保証期間	年 月 日から 年 月 日までの3ヶ月間			
お客様	会社名			
	ご住所	〒		
	電話番号		ご担当者	
取扱販売店名 住所 電話番号				
印				

中西金属工業株式会社

〒530-8566 大阪市北区天満橋3丁目3番5号
電話 (06) 6351-3280



中西金属工業株式会社

西部統括グループ

〒530-8566 大阪市北区天満橋3-3-5
TEL:06-6351-3280 FAX:06-6351-8365

東部統括グループ

〒104-0031 東京都中央区京橋1-1-1
八重洲ダイビル7F
TEL:03-3278-0330 FAX:03-3278-0709

中部統括グループ

〒472-0042 愛知県知立市内幸町平田75番地
TEL:0566-85-1300 FAX:0566-85-1333



中西輸送機株式会社

滋賀工場/部品サービスセンター

〒520-3203 滋賀県湖南市日枝町4番地
TEL:0748-75-7846 FAX:0748-75-7305

川口サービスセンター

〒333-0834 埼玉県川口市安行領根岸3266
TEL:048-284-1610 FAX:048-286-6302